

2011年1月7日

私立大学図書館協会
阪神地区協議会加盟館
図書館長 殿

私立大学図書館協会西地区部会
阪神地区研究会 幹事校・当番校
大阪成蹊大学・短期大学図書館
館長 堤 正 史
〔公印省略〕
大阪女学院大学・短期大学図書館
館長 坂 本 恭 子
〔公印省略〕

2010年度第2回阪神地区研究会の開催について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の研究会を下記の通り開催いたしますので、ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 2011年2月17日（木） 13:00～17:00
2. 会 場 大阪女学院大学・短期大学 201教室
交通アクセスにつきましては下記ホームページの「アクセス」をご確認ください。
3. 申し込み 別紙出欠票にご記入いただき、郵送・FAX のいずれかでお申し込みください。
なお、準備の都合上、2011年1月24日（月）必着でお願いいたします。
4. 申し込み・お問い合わせ先
〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-26-54
大阪女学院大学・短期大学図書館
TEL: 06 (6761) 4021 FAX: 06 (6761) 4138
E-mail: library@wilmina.ac.jp

以上

2010年度第2回阪神地区研究会次第

日時：2011年2月17日（木） 13:00～16:45

会場：大阪女学院大学・短期大学 201教室

テーマ：「初年次教育と図書館」

12:30 受付開始

13:00 開会

開会挨拶・講師紹介 幹事校 大阪女学院大学・短期大学図書館 館長 坂本恭子

13:10 講演・質疑応答

演題「初年次教育における図書館との連携—関西国際大学「学習技術」の取り組み」

上村 和美（関西国際大学 教授）

【内容概要】

高校を卒業し、呼称は生徒から学生へと変化したものの、学習スタイルは高校時代のままであるというケースも多い。関西国際大学では、入学した春学期に必修科目「学習技術」を開講し、大学生としての学びのスタイルを獲得させている。特に「学習技術」で使用するテキスト『知へのステップ—大学生からのスタディ・スキルズ』の中では、高校時代とは違う大学図書館の利用方法について述べている。本講演では、「学習技術」の授業の中でどのように図書館との連携を図っているのかについて、具体例を交えながら紹介していきたい。

14:15 休憩

14:40 事例発表・質疑応答

演題「情報リテラシー教育が抱える課題：初年次教育における図書館の役割」

川崎 千加（大阪女学院大学 講師）

【内容概要】

大阪女学院における情報リテラシー科目は主として、情報検索と情報の整理、批判的読みとこれらを使った論文スタイルを獲得することを目的に実施されてきた。しかし、近年の学生像の変化は、そこに至るまでの「読み」「書く」力の養成を大学の初年次教育に求めるようになってきている。この問題に真正面から取り組んだのが本学における「自己形成スキル」である。読み、書く力はキャリア形成の基盤であり、そこではライフ・ラーニングを支える図書館の役割が再認識される。

15:40 海外認定研修報告について

報告者紹介 会長校 関西外国語大学図書館学術情報センター 藤津滋生

15:45 海外認定研修報告・質疑応答

演題「中国の図書館を巡って」

今村 太郎（関西学院大学図書館）

16:45 閉会

閉会挨拶 幹事校 大阪成蹊大阪・短期大学図書館 館長 堤 正史

年 月 日

大阪女学院大学・短期大学図書館 宛

私立大学図書館協会 西地区部会
2010年度第2回阪神地区研究会出欠票

図書館名： _____

E-mail： _____

FAX： _____

ご 出 席 ・ ご 欠 席

【ご出席者】

| 職 名 | 氏 名 |
|-----|-----|
| | |
| | |
| | |
| | |

〒540-0004 大阪府中央区玉造 2-26-54
大阪女学院大学・短期大学図書館
TEL：06（6761）4021
FAX：06（6761）4138
E-mail：library@wilmina.ac.jp

所定事項にご記入の上、2011年1月24日（月）までにお申し込みください。
（ご返送の際は本状のみでお願いいたします。）